

平成29年9月27日～29日

市民クラブ（大塚基生、益田政昭、下田昇一郎）

## 【三重県紀北町】 外国人研修制度について

### 視察報告

三重県紀北町と御浜町の両商工会が飛び地合併して誕生した「みえ熊野古道商工会」で視察研修を行った。紀北町は、小さな本渡の街並みと牛深の漁村と加工場が合わさったような町で、水産加工業が地場産業として盛んとのことであった。

しかし、少子高齢化により求人を出しても応募がなく、若手の労働力不足に苦慮しており、作業の効率化や生産システムの改善が図れず、市場の変化や消費者ニーズの対応ができない現状が続いていたとのことであった。

このことから、平成13年に水産加工業者3事業所より外国人研修生受け入れ制度の導入要望があり、翌14年より商工会が第1次受け入れ機関となり、先の3事業所が第2次受け入れ機関となって中国より9名の研修生を受け入れた。以降、現在まで16期306名の受け入れを実施されており、受け入れ先の経営者からは、現在では彼ら抜きでは会社の運営は成り立たないとの話もあった。

平成22年7月からは、出入国管理法改正により職業紹介事業の許可、または届出が必要となったことから、実習実施事業所の監査を3カ月に1回実施し、結果を地方入国管理局に報告しておられた。この中で、研修生の生活面、健康状態について、言葉の壁や事業所内のコミュニケーションに重点を置いた指導等を実施し、社内の雰



囲気向上、地域の雰囲気や溶け込むための環境整備において成果を上げられていた。

平成29年11月1日から、管理監督体制の強化や技能実習生の保護等を目的とした新たな技能実習制度となり、管理団体は許可制、実習実施者は届け出制となるとのことであった。

また、新たな外国人技能実習機構（認可法人）を創設し、報告、検査等の業務を実施。実習生の保護体制を整備、人権侵害行為に対する罰則等も整備し、優良管理団体には研修期間の延長、採用人員枠の拡張、対象職種を拡張するとのことであった。

### 視察を終えて

現在の天草の水産業も人員不足に苦慮しており、将来の事業継続、拡大には必要不可欠な制度であると感じた。また、商工会議所が第1次の管理団体になることで地域の事業所へ研修生を紹介し、手続き代行や監査指導、地域との融合を図ることができ、地方の1次産業の活性化が推進できるのではないかと感じた。

平成30年1月5日

日本共産党（蓮池良正・浜崎義昭）

## 【熊本県山都町】 再生可能エネルギーの活用実践について

### 視察報告

県内の上益城郡山都町で、再生可能エネルギーの利活用が盛んに実践されていると知り、訪問しました。併せて、ジビエ解体処理施設が稼働して3か月であり、視察しました。

### ①小規模水力発電

旧清和村のエリアに立地する小規模水力発電は、水量豊富な緑川の水資源を活用。出力190キロワットを発し、全量を九州電力に売電（平均年間1,700万円）。消費電力としては、地域の相当世帯分に当たります。砂防ダムを活用している所が、地域資源活用の肝所か。

### ②ジビエ工房やまと

有害鳥獣の駆除でも、山都町は先進です。ジビエ工房やまとが、設立され始動しています。天草でもおなじみのイノシンだけでなく、山都町ではシカの被害が多く、駆除の対象となっています。出来たての工房の活況を感じます。有害鳥獣も地域資源として経済に乗せていくことは、山村に限らず、過疎化が進む天草地域でも研究開発できます。



### ③公民館や街路灯の電源に活用

旧矢部町地域では、再生可能エネルギーの賦存状況調査を実施して、農業用水活用に特化して、公民館・電気牧場・集落内の街路灯、観光施設への活用が検討された。2地区で実証に向けた検討が進んでいる。

円形分水は、概ね7対3に、流量を調整する設備で、県内から1,000人の中学生が見学に来訪している。水をめぐり農民の争いが絶えず、歴史的文化として現在に受け継がれている。

### 視察を終えて

天草市でも、地域資源の活用を提起したい。地域資源を活用して、地球温暖化防止に貢献することができます。

平成29年11月13日～15日

天政会（池田裕之、本田武志、中村三千人、勝木幸生、宮下幸一郎、鶴戸継啓）、  
脇島義純

## 【山形県・高島町】 熱中小学校について

### 視察報告

天草市では、小中学校の廃校後の校舎や空き教室が、市外からの民間企業などに貸し出されているものの、地域での活用がなされていない状況にある。

山形県高島町で2015年10月から始まった熱中小学校は、起業家精神や里山文化・最新技術を学び、創造する場となることを目指してNPO法人はじまりの学校が運営。現在21～78歳の147名が生徒として入学し、約100名の豪華教諭陣の授業を受けています。起業家に音楽家、大学教授や料理家など、さまざまな分野のスペシャリストが素晴らしい授業を展開。熱中小学校のビジョンは①起業家マインドの育成②里山文化の体験、都市部との交流・移住促進③最新技術との出会いの場④地域貢献・地域のコミュニティづくり。として地域住民と都市・新技術との出会いふれあいの場として存在する。現在、全国に8校の姉妹校が授業展開している。

### 視察を終えて

地域住民と都市・企業・新技術の出会い交流の場として市民の意識を変える場が必要な事案と感じた。



平成29年9月25日～28日  
平成29年11月22日～24日

政友会（浜崎昭臣・平山泰司・鎗光秀孝・船辺修・柴田誠）

## 【新潟県佐渡市】平成29年9月25日～28日 観光振興について

### 視察報告

まず、佐渡市議会議長より歓迎のあいさつがあり、その後、議会事務局職員より研修内容の資料の説明がなされ、観光振興課課長から佐渡市の観光全般についての説明を受けました。

説明では、個人旅行への観光動態の変化や現地ならではの体験を期待する傾向にあることから、今後はニーズに合わせた着地型の旅行商品造成を積極的に推進することでした。

また、地域内での消費誘発及び地元との交流等による満足度向上、経済波及効果とリピーター率の向上を図るため、一次産業や地域との連携等による佐渡の本物の魅力を伝え、地域で稼ぐことができる滞在交流型観光を目指すということでした。

なお、昨年は6隻のクルーズ船が入港し、島民全体でおもてなしをしているとのことでした。

### 視察を終えて

観光客が団体旅行から個人旅行へシフトしていることから、本市においてもイルカウォッチング等の地域資源を活用し、滞在型観光（周遊ルートプラン）増加の取り組みが必要だと感じました。

## 【東京都・経済産業省】 地域未来投資促進法について

近年、地域経済の事業環境変化に伴い、産業・雇用の担い手は多様化しているなか、観光など地域の特性を生かした成長性の高い新たな分野に挑戦する取り組みが登場しつつあります。

<新たな成長分野の例>①成長ものづくり分野（医療機器、航空機部品、新素材等）②農林水産、地域商社③第4次産業革命（IoT、AI、ビッグデータ活用）④観光・スポーツ・文化・まちづくり関連⑤環境・エネルギー分野⑥ヘルスケア・教育サービス 等

「地域未来投資」が全国津々浦々で活発になり、地域経済における稼ぐ力の好循環が実現されるよう、政策資源を集中投入されます。

## 【東京都・厚生労働省】 地方人材還流促進事業（LO活プロジェクト）について

LO活とは、地方就職を考える若年層に向けて、地方就職に役立つ情報を提供する厚生労働省のプロジェクト。全国46の自治体（道府県）・211の大学との連携により、どこよりも詳しい地方就職に関する情報提供事業である。

### 視察を終えて

地方での若者の取り組みを第三者目線での地域発展を天草市でも期待したい。

## 【長崎県新上五島町】平成29年11月22日～24日 世界遺産候補の取り組みについて

### 視察報告

新上五島町議会事務局の浦口局長からご挨拶をいただき、江上町長から「世界文化遺産候補」についてお話をお聞きしました。

昨年5月に天草市との連携協定を締結し、天草・崎津と長崎・五島地域をつなぐ航路が稼働し、お互いに世界文化遺産登録に向けて機運の醸成にお互いの拍車をかけ、観光物産、まちづくりなど末永い交流ができればとおっしゃっておられました。

### 視察を終えて

今回、観光客の中で女性が圧倒的に多かったのが印象的で、町民の方々の「おもてなし」の気持ちが伝わりました。天草市も観光客にオール天草での「おもてなし」をし、世界文化遺産登録にと考えさせられました。

